==========================================================================

\*\* 日本学術会議ニュース・メール　\*\*　No.518\*\*　2015/10/30

==========================================================================

■-----------------------------------------------------------------------

　フューチャー・アース日本会議期間中（１１月１４日～２３日）の

  シンポジウムのお知らせ（計４件）【再掲】

-----------------------------------------------------------------------■

(１）サイエンスアゴラ「フューチャー・アース ～持続可能な地球社会に向けて～」

地球規模の諸問題に関する様々な国際共同研究を統合し、地球の変動を包括的に理解す

るとともに、これらの研究成果を問題解決に活用し、社会転換に結びつけるための研究

を行う国際的イニシアテイブである「フューチャー・アース」。

その事務局長が来日し、フュー チャー・アースの目的や特徴についてお話し、メディア

ラボがプレゼンテーションを行います。

持続可能な開発のために、研究に何が求められているのか、どうすれば研究を社会に結び

つけることができるのか、フロア全体で議論します。

日　 時：2015年11月14日（土）13：00-17：00(受付12：30～13：00）

場　 所：日本科学未 来館　イノベーションホール

　       <http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

主　催：日本学術会議　フューチャーアースの推進に関する委員会

共　催：JST、総合地球環境学研究所

定　員： 80名

言　語： 英語（同時通訳あり）

参加費：無料

セッションの詳細については下記をご覧ください。

<http://www.chikyu.ac.jp/future_earth/events/events_20151114.pdf>

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/program/booth/ab_101/>

参加申し込みは下記まで、お名前、ご所属、メールアドレスをご連絡ください。

（11月10日（火）〆切）

総合地球環境学研究所　Future Earth推進室

 tel: 075-707-2403

 e-mail: FutureEarth＠[chikyu.ac.jp](http://chikyu.ac.jp/)

（２）生命を育む地球環境の変動予測と適応─我が国におけるIGBP25年間の歩み

我が国におけるIGBP (地球圏－生物圏国際協同研究計画)、

及び傘下の８つのコア・プロジェクトに関する研究活動を総括し、

フューチャー・アースを含め、将来へのさらなる発展を目指した議論を行うための

公開シンポジウムを開催いたします。

日　時： 2015年11月15日（日）9:00-12:00 ※開場8:30

場　所： 政策研究大学院大学 （東京都港区六本木7-22-1）1階　会議室1A・1B

　　　　 <http://www.grips.ac.jp/about/access/>

主　催： 日本学術会議 環境学委員会

          ・地球惑星科学委員会合同IGBP・WCRP・DIVERSITAS（IWD）合同分科会

共　催： 日本学術会議 フューチャー・アースの推進に関する委員会

後　援： 日本地球惑星科学連合

定　員： 100名

言　語： 日本語

参加費： 無料

プログラム等の詳細は下記ＨＰに記載しております。

また、事前参加登録につきましても下記ＨＰにて受け付けております。

<http://mits10.aori.u-tokyo.ac.jp/kokusai/igbp2015/>

お問い合わせ先：

植松光夫教授（日本学術会議特任連携会員）

東京大学大気海洋研究所

電子メール： uematsu@aori.u-tokyo.ac.jp

（３）持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2015

今年度は「フューチャー・アース」をテーマとして、国内外の研究者・メディア関係者に

よる、基調講演・パネルディスカッションを行う予定です。

日　時： 2015年11月15日（日）13:30-18:00 ※開場12:45

場　所：日本学術会議講堂

主　催：日本学術会議

       （協力委員会：フューチャー・アースの推進に関する委員会、環境学委員会）

共　催： Future Earth、東京大学サスティナビリティ学連携研究機構、

        総合地球環境学研究所、国際連合大学（予定）、国立環境研究所（予定）

定　員： 200名

言　語： 日本語・英語（同時通訳あり）

参加費：無料

プログラム等の詳細は下記ＨＰに記載しております。

また、事前参加登録につきましても下記ＨＰにて受け付けております。

<http://www.pco-prime.com/Science_and_Technology_for_Sustainability2015/index.html>

お問い合わせ先：

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2015　事務局

Tel: 03-6277-0095

E-mail: Science\_and\_Technology\_for\_Sustainability2015@pco-prime.com

（４）フューチャー・アース　- 新たな国際プラットフォームで社会と科学をつなぐ

International Symposium on Sustainability Science

Future Earth - a new platform promoting science for society

今年度は「フューチャー・アース」をテーマとして、

国内外の研究者、また企業からも参加をいただき、各種講演・パネルディスカッションや、

双方対話式のセッションなども行う予定です。

日　時： 2015年11月21日（土）9:30-16:00（開場　9:00）

場　所： 東京大学　本郷キャンパス内　安田講堂

主　催：一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)

共　催：東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)、Future Earth、

            国際連合大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）、

            東京大学大学院新領域創成科学研究科サステイナビリティ学グローバル

            リーダー養成大学院プログラム（GPSS-GLI）、持続可能な開発ソリュー

            ション・ネットワーク・ジャパン（SDSN Japan））

定　員： 900名

言　語： 日本語・英語（同時通訳あり）

参加費： 無料

プログラム等の詳細は下記ＨＰに記載しております。

また、事前参加登録につきましても下記ＨＰにて受け付けております。

<http://www.pco-prime.com/2015isssfe/>

お問い合わせ先

「SSC シンポジウム」事務局

株式会社プライムインターナショナル内

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-10-601

E-mail: 2015isssfe\_secretariat@pco-prime.com

Tel:03-6277-0117　Fax:03-6277-0118

★-----------------------------------------------------------------------☆

　日本学術会議では、Twitterを用いて情報を発信しております。

　　　　　　　　　 アカウントは、@scj\_info　です。

　　　　　　　 日本学術会議広報のTwitterのページはこちらから

　　　　　　　　　　　 <http://twitter.com/scj_info>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

　　　　　　 学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

　　　 <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

===========================================================================

　日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転

載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけ

るようにお取り計らいください。

　本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらか

じめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記

載がありますので、そちらからお願いいたします。

===========================================================================

　　発行：日本学術会議事務局　<http://www.scj.go.jp/>

　　　　 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34